



平成29年11月24日

報道発表資料

川崎市とドイツ・ミュンヘンのバイオクラスターマネジメント組織「Bio^M」が健康・医療・福祉分野を中心とした経済交流に関する覚書を締結しました。

川崎市とミュンヘンのバイオクラスターのマネジメント組織「Bio^M（バイオエム）」は、健康・医療・福祉分野を中心とした経済交流に関する覚書を締結しました。

この覚書は、川崎市とBio^Mとの間で、健康・医療・福祉分野での双方の地域における経済交流を進め、産産・産学連携の促進を目指すものです。

ライフサイエンス分野を中心に世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点「キングスカイフロント」の拠点形成を進める川崎市にとって、海外の先進的なクラスターマネジメント組織との初の覚書締結となります。

経緯

川崎市では、キングスカイフロントの拠点形成を進め、健康・医療・福祉、環境などの分野で、イノベーションを通じて世界が直面している課題の解決に貢献するとともに、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことを目指しています。

Bio^Mは、ドイツ・バイエルン州において、バイオテクノロジー分野のネットワークとクラスターを管理する公的資金を受けた非営利組織であり、ミュンヘンとバイエルン州地域におけるバイオ医薬品開発の促進等を支援しています。

川崎市が、平成29年2月に、先進的なクラスター調査のため、世界トップクラスのクラスターマネジメント組織であるBio^Mを訪問したことをきっかけに、両者の協力による国際的なイノベーションの創出のため、相互交流を進める中で、この度、川崎市とバイエルン州地域間での経済交流に向け、本覚書を締結することになりました。

協力事項

川崎市とBio^Mは、協力し以下事項を取り組みます。

- (1) 双方の地域にとって有益な強固で長期に渡る関係を築きます。
- (2) 定期的に双方の地域の最新情報の提供、成功事例に関する意見交換を行います。
- (3) 双方の地域のライフサイエンス企業等の進出拠点を確立します。
- (4) 国際的な共同研究開発プロジェクトを促進します。



**双方の地域における企業、研究機関等間の橋渡しを行い、
連携することによる国際的なイノベーション創出を目指します。**

問合せ先

川崎市臨海部国際戦略本部国際戦略推進部 東

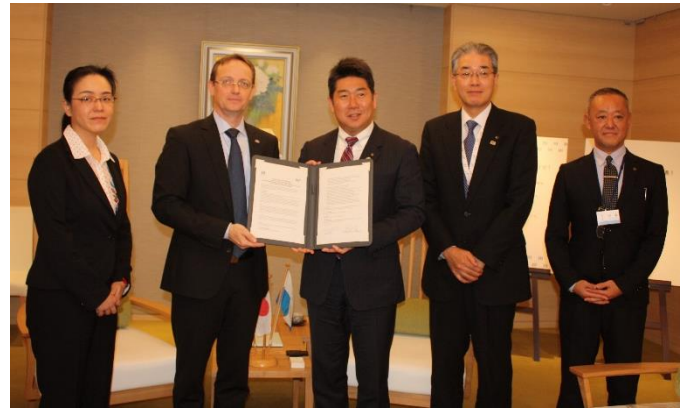
電話 044-200-3633

締結の様子

11月24日にバイエルン州駐日代表部ゲルティンガー代表が川崎市を訪問し、締結式を開催しました。



(左)バイエルン州駐日代表部 代表
Dr. Christian Geltinger
(右)川崎市 福田市長



(左より)
・バイエルン州駐日代表部 田山野恵プロジェクトマネージャー
・バイエルン州駐日代表部 代表 Dr. Christian Geltinger
・川崎市 福田市長
・鈴木 臨海部国際戦略本部長、
・白鳥 臨海部国際戦略本部 国際戦略推進部長

11月10日に臨海部国際戦略本部 国際戦略推進部長がバイエルン州を訪問し、Bio^MのDomdey CEOが署名しました。



(右)Bio^M CEO Prof. Dr. Horst Domdey
(左)川崎市臨海部国際戦略本部 白鳥国際戦略推進部長



(左より)
・バイエルン州 経済・メディア・エネルギー・技術省
Invest in Bavaria 責任者 Dr. Wolfgang Huebschle
・Bio^M CEO Prof. Dr. Horst Domdey
・川崎市臨海部国際戦略本部 白鳥国際戦略推進部長
・バイエルン州 経済・メディア・エネルギー・技術省
イノベーション・研究・技術局長 Dr. Manfred Wolter
・在ミュンヘン日本総領事館 木村徹也総領事